

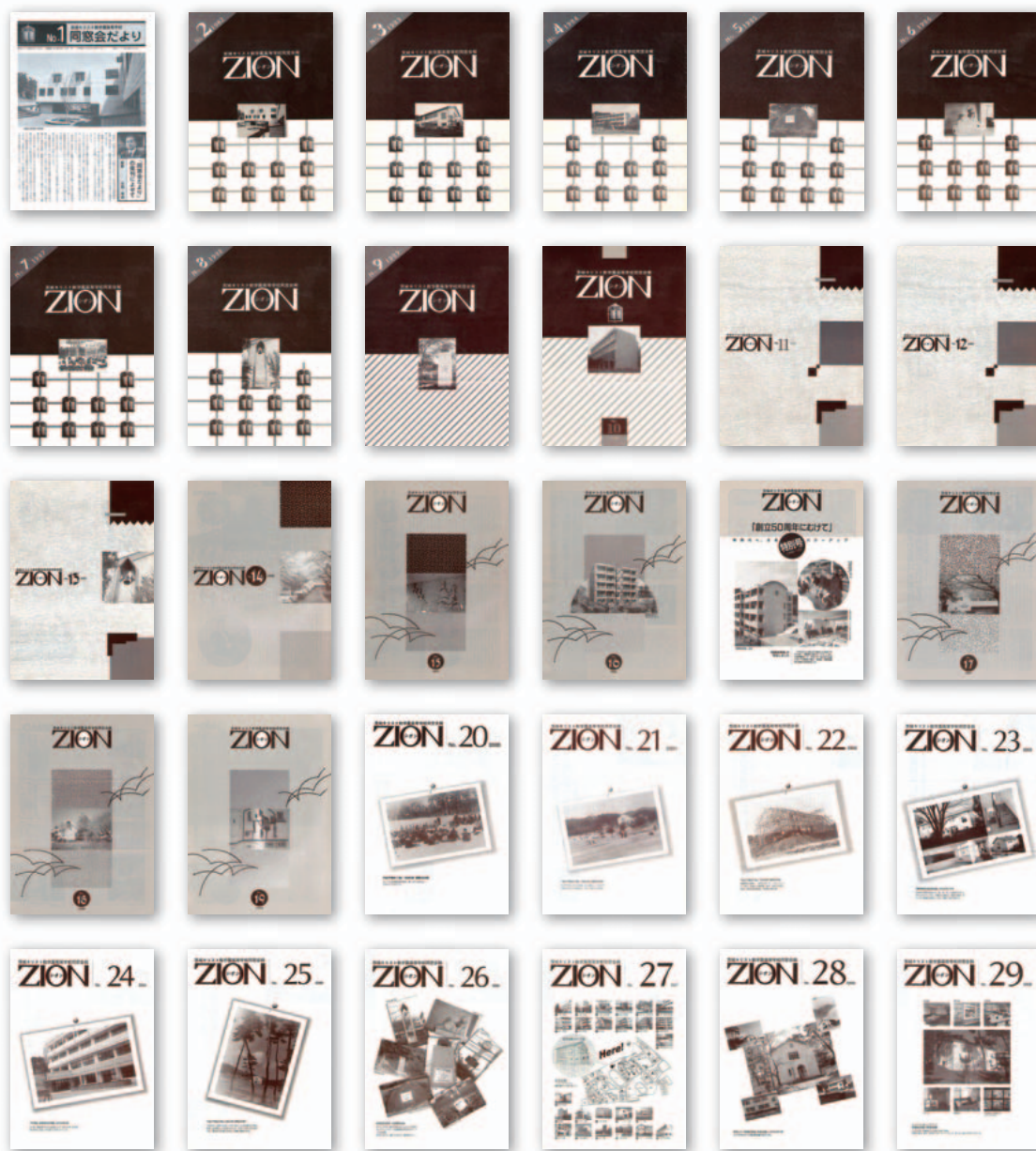
ZION

シオン

No.

30

2010



教える側も、教わる側も、同窓生

●ナント、本高校出身の現教職員が二十二名も！

十名の教職員を紹介いたします

今年の三月に第六〇回生の卒業式がおこなわれ、今年を含め二六、九四六名の同窓生が学園から巣立ったことになる。

同窓生も三世代のファミリーの時代になった。キリスト教学園高校においても、同校出身の教職員も二十名を数える。教える者と、教わる者も、先輩と後輩で、同窓会にとっては同慶の至り、嬉しい時代になった。

ここにZION会報誌三〇周年記念として、学園の教職員である先生と事務方を紹介する。

酒井(司会) 本日はご多忙のところ、ありがとうございます。会報「ZION」が三〇号を迎えました。よく長く続きましたね(笑)。同窓会の自慢の一つです。他の高校同窓会には無いと思います。依頼原稿ではなく、訪問したり、電話取材で担当者が書いてます。

佐藤 そして多くの方々に写真入りで、登場願っています。今、同窓生がどうしているかを紹介しています。

荒川 今までのページは「ぶらり訪問」の企画でしたが酒井編集長の強い要望で、今回の座談会になりました。

中村 うちの編集長は、編集にあたっては、厳しく、解りやすくが信条で、いつもお騒がせします(笑)。

鈴木 そうですね、同窓会誌は、いつも学園の応援団と思っています。卒業生の良いニュースを伝えれば伝えるほど学園のイメージアップになります。そうすると学園が元

気になります。先生方には情報をいただいて、学園と同窓会の潤滑油になって欲しいと思っています。

酒井 山田さんの高校時代の思い出は何でしょうか？

山田 私の思い出は仮装行列です。本当に楽しかった。私は学園が好きで、三人の子供も高校を卒業しています。

佐藤 映画が好きとかはいましたが。

山田 最近では「アバター」を観ました(笑)。大変迫力があり、面白かったです。教師になって、不思議に思ったのは、私が学んだ教室で生徒に教えたことです。タイムスリップしたようでした。

佐藤 野木さんは学園とは長い付合ですね。

野木 はい、中学校から入り、高校、大学を卒業して、それからずっと勤めております。趣味は日本舞踊やミュージカル鑑賞です。



編集委員
荒川真理子
(20回生)



編集委員
佐藤寿子
(12回生)



ZION編集長
酒井溥起(司会)
(10回生)



同窓会会長
鈴木誉志男
(10回生)



本部職員
金澤邦博さん
(30回生)



聖書担当
水谷正美さん
(29回生)



英語担当
野木敬子さん
(25回生)



英語担当
山田めぐみさん
(旧姓:黒沢/24回生)



英語担当
ロング亜希子さん
(旧姓:西村/51回生)



数学担当
野田千澄さん
(旧姓:箕輪/50回生)



高校事務職員
柴田美穂さん
(旧姓:荻沼/46回生)



英語担当
安嶋龍孝さん
(32回生)



国語担当
五十嵐愛さん
(55回生)



高校事務職員
倉内亜貴野さん
(52回生)

鈴木 野木さんは私の家の隣りです。小学生の頃から知っています。踊りが上手でしたね。野木 幼児期から日本舞踊をしまして名取です。
酒井 高校時代の思い出と、同窓会に要望がありましたなら…
野木 思い出は、英語の弁論大会に出場したことや学園祭でE.S.S英語部で英語劇で発表したことが楽しい思い出です。要望としては、同窓生の中で就職をしたい人に、地元での企業の情報を知らせて欲しいと思っています。
水谷 私は高校から大学の文学部を卒業して聖書を担当しています。学生時代は荒川沖からの通学で、六時四分の電車に乗り、遠いところからの通学でした。
中村 クラブ活動はされましたか。趣味は。



編集委員
中村潤治
(23回生)

水谷 聖書クラブに入りました。高校時代はベランダから見る海がとても好きでした。私は霞ヶ浦付近をウォーキングします。約4時間歩きます。
酒井 自然のままを楽しむ、ですか。金澤さんはどんな高校生活をされましたか。
金澤 高校の思い出はサッカー部そのものでした。今も少年サッカー団の指導をしています。
荒川 金澤さんはどうしてキリスト高を選びましたか。そして、番気を付けていることは？
金澤 他校には無い気品があったから(笑)。学園生活は愉しかったです。一番気を付けているのは家族を大切にすることです。学園でキリスト教の精神を学んだことも、大きなささえになっております。私も同窓会の役員をしています。学園の応援団、サポートに大きな意味でなりたいと思います。
佐藤 安嶋さんの思い出は、何でしょうか。
安嶋 私はいわきからの通学で、六時三〇分の電車でした。大みか駅に着く頃には眠りかけていました。当時、土井先生や佐々木先生によく古文の添削をしていただきました。修学旅行は新幹線での長旅でしたが、初めての広島、倉敷は思い出深いです。
中村 通学にはいわきは遠いですね。
安嶋 約一時間かかります。その間は、友人と話をしたり、本を読んだり、外を眺め



中村 趣味はマウンテンバイクですね、優しい人柄とは想像もつかないアクティブな趣味ですね。

柴田 そうですか、自然林の中をバイクで走ると爽やかな気持ちになります。仲間と県内の山を走っています。主人も二緒ですから、気をつけて楽しく真面目に走っております(笑)。

酒井 野田さんが進まれたのは？

野田 私は茨城大学の理学部に入りました。三年間の担任が数学の杉浦先生で、熱い指導が私の進路になったと思います。今はブラバンドの顧問をしています。唄うことが大好きでジャンルは問いません。何でも唄います(笑)。どちらかと言えば男性ボーカルの曲がタイプですね。高校生活の思い出は、とにかくクラスの団結力がなんといつても強く、仲間がいっぱい出来たことでしょう。

酒井 ロングさんは中学から高校、大学と進まれた、シオン子？ですね。

ロング はい、野木先生と同じ、中学、高校、大学と進みました。高校時代の思い出は六年間もの間、友達と一緒に学校生活を送れたことです。

佐藤 ご主人はアメリカ人ですね。

ロング はい、大学の姉妹大学から、茨城キリスト教大学に留学しました。そこで知り合い結婚しました。

佐藤 そこで、日本にひっぱっちゃった？(笑)

ロング そんなことございませぬ。私はクリスチャンとして、この学園で働きたかったのです。広報誌の「ZION」は好きです。卒業生に母校の近況を伝える広報誌として今後も期待しています。卒業生が母校を身近に感じられるものですか。

荒川 倉内さんの高校時代を聞かせてください。

さい。

倉内 はい。私はキリスト教大学の文学部を卒業しました。今は事務職をしております。高校時代の思い出は、クラスの友人と自宅から薩摩芋を持ってきて、放課後に濡れた新聞紙に芋をつみ、落ち葉の焚き火で焼き芋を食べたこと。その芋の甘かったこと、ゆつくり低温で蒸し焼きをすると最高の味になることを知ったのは、最高の思い出です。

酒井 五十嵐さんは二十三歳ですね。最も若い先生ですね。高校時代の思い出は？

五十嵐 地元中学は学校が荒れていて、教室には団結をしようとか、そんな思いは無かったです。高校に入るとびつくりするぐらい楽しい三年間でした。特にクリスマス礼拝は印象が深かった。カルチャーショックでした。クリスマス礼拝の時、夢心地になり寝てしまいました。その時キャンドルの炎の前

髪を焦がしてしまいました(笑)。読書が好きになり、それが高じて国語の先生になりました。大学の時、教育実習で高校に来ました。学生時代はとても楽しかった。その思いを生徒にも味わって欲しいと思います。

酒井 ありがとうございました。皆さんから学生時代、とても愉しかった思い出話を聞きました。それは先生の良い指導があったからだと思います。皆さんも伝統を引き継いで、良い思い出を作る先生になって下さい。同窓会は皆さんの応援団です。がんばって下さい。

2月12日、学園記念館(同窓会館)で開かれた懇談会を収録

・撮影 小野瀬雅之(三十二回生)
・記録 宮本せつ子(十八回生)

親子 DE シオン



村田和華子さん(35回生)
真之介君(高校3年生)
北茨城市大津町在住

和華さんは35回生。ご主人の章さんと真之介君、弟さんの4人家族。和華さんは、(株)五浦観光ホテルの若女将を20年間務めている。東京の大学を卒業して、日本航空国際客室乗員部でアシスタントパーサーとして4年間国際線に乗務して世界中を回った。

真之介君は、開校して2年目の中高一貫教育の中学校に入学し、現在は6年生。身長185cmの長身。フォークソング部に入部して、ギターボーカルが得意。先般行われた学園のど自慢で、福山雅治(NHK龍馬伝主役)が唄う「化身」を歌い優勝した。声が良いのは誰に似たのかの問いに、両親です、と気を配る。

「将来はお客様をもてなす仕事をしたい。母は気配りの人だなーと思います。外国人の対応が上手」と真之介さん。「この子は素直で落ち着いています。私のあわてん坊とは違います」と和華さん評。仲良し親子である。

たり、お互い膝をたたいて相手を起こしたものです。鯉が泳ぐ小さな池があった昔の大みか駅が懐かしいです。いつも同じ車輦ですから、学生も社会人もだいたい同じ顔触れで、ちよつとした親近感がありました。

荒川 柴田さんはどうして学園に勤めたのですか。

柴田 はい、私は放課後図書館に通い本を読むことが好きになり、図書委員をいたしました。宮本せつ子先輩と楽しい思い出がいっぱいです。大学の文学部を卒業して、素敵な学園で働きたいと思いました。

コーラスの絆と想い……………

証言 ①=稲垣淑子
(旧姓:渡辺/31回生)

1年生の時、当時3年生の先輩が素晴らしくて…憧れていました。ステキなのと同時に面白くて、笑いが絶えなかった。忘れられないのは先輩たちが作詞作曲した「おたべの唄」。ちゃんと楽譜にしておたべの会社に送ったら、感謝の手紙とおたべが一箱届いたって…。

2年生の時はオペレッタ「ヘンゼルとグレーテル」の上映ですね。私、魔女やりました。「イッヒッヒッヒッ」と笑い声を出すのが気持ち良くて、あれでちょっと私の人生感変わった…かも。

証言 ②=鈴木文子
(旧姓:永井/31回生)

自分がコーラス部に入部したのは、入学式で聖歌隊の演奏を聞いたからです。「私もこんな風に歌ってみたい!!もって沢山の歌を知りたい!!」という気持ちで…。

梅津先生の指導は、優しくさうでいて厳しかった。それでもついて行けたのは、歌う楽しさに目覚めていたからでしょう。宗教曲を沢山歌えたのは、貴重な体験でした。

年に一度のお楽しみは、クリスマス礼拝の合唱。男子生徒にも参加してもらいヘンデルの「ハレルヤ」を歌います。男声が入った途端に、音に厚みが出てきて、これもとても楽しい体験でした。

1年の夏に「全国芸術祭」に参加できたことが一番の思い出です。

証言 ③=有馬真由美
(旧姓:根本/31回生)

いつの間にか口ずさむ鼻歌はいつも賛美歌。誰か一人が口ずさめばアッという間に2部・3部・4部とハモって素敵なコーラスになりました。

毎年恒例「朝日新聞全国合唱コンクール茨城大会」で銀賞を受賞し、九段会館で行なわれる関東大会に出場。でもその日は必ず11月3日。おかげで学園祭はいつも不参加…。

クリスマス礼拝では聖歌隊として参加。毎年舞台の上から見るキャンドルサービス…ろうそくの明かりが灯っていく様はとても美しく幻想的でした。

証言 ④=熊倉克彦(32回生)

私が入部した時は男子が全く居りませんでした。友達と私の2人が唯一のコーラス部員。混声でありながら、バランスがいまひとつ…。助っ人を探す日々が続く、何名かの同志を集め形にしていきました。

練習場所は音楽室でバンドと共同使用。お互いにローテーションで日割りして練習していました。音楽室が使えない時は、個室でパート練習、発声練習には賛美歌が使われ、忙しい中にも楽しさと充実感に満ち溢れていました。

混声ということでコンクールに私たち男子部員が参加できたのは、唯一「NHK合唱コンクール」。結果は……でしたが、とても素晴らしい思い出となって今も蘇ります。



<31回生>



<32回生>

証言 ⑤=本図幸代
(旧姓:白井/32回生)

当時のコーラス部には、コンクールという競い合う場がありました。いつも水戸二高を良きライバルとして練習に励んでいたように思います。キリスト教の高校とあって、歌う曲はミサ曲が中心でした。ラテン語で記された歌詞に、私は深い理解も無く歌っていました。卒業後はピアノ科に進学し、現在音楽指導に携っています。折に触れミサ曲を歌いますが、梅津先生や仲間と培った発音が、あたりまえのように出てきてはコーラス部を懐かしんでいます。

証言 ⑥=小坪ひろみ
(旧姓:小坪/32回生)

全国合唱コンクールに向けて、梅津先生を中心に部員全員が一丸となり練習を積んでいました。緊張感の中にも楽しさや信頼感が生まれ、私に勇気と自信をもたらしてくれました。色々な思いを乗せて関東大会へ…。その反面、文化祭とは無縁に近い学園生活を送っていたことが心残りです。クリスマス礼拝のキャンドルサービスでは、賛美歌と共に光り輝く灯が、夢の世界に引き込んでくれました。

快晴のシオン祭
みんなで笑顔!

前日の雨から打って変わった快晴! 毎年恒例の第六十二回シオン祭に今年も同窓会が自慢の「コーヒー」と共に参加。新型インフルエンザの影響もあり、例年よりも若干ながら出足は鈍かったものの、「コーヒー」をはじめ、シオン饅頭、マドレーヌ、ZION湯呑、雑貨等の販売は大盛況。収益は六七、六五四円となりました。本収益は同窓会活動資金として有益に利用させていただきます。

尚、同窓会と一緒に「これを是非売ってみたい」という方がおりましたら同窓会事務局までご連絡いただければと思います。



「ZION」発行への寄付のお願い
12,000人以上の卒業生各位への「ZION」発行と送料で200万円以上が必要ですが、毎年資金が不足しております。1人2,000円以上のご協力をお願い致します。(「ZION」紙に同封の振込用紙をご使用下さい)



古屋 篤志
(29回生)
清分堂フランド印刷経営
水戸市西原在住

紙、布、金属、何にでも印刷できます

高校時代はブラスバンド部に所属、中学1年から吹き始めたトランペットを担当していた。思い出としては残るが、それ程強烈なものではない。

現在は特殊印刷を手がけている。「スクリーン印刷でTシャツなど衣類をカラフルに仕上げています。母校との付き合いも長く、杉浦先生からはチアガールのTシャツなどの注文を頂いています」

業界全体としての受注は減少傾向だが、個人のオリジナル注文が増えている。10枚程度からと少数だが、喜んでもらえるし反響は大きい。「よくできたね。最高!」の一言が嬉しくて仕事しているようなものです。

そして、恵美子夫人とは同学年。子供4人、最後の2人は双子の宝物。

集まれ 青春!

いよいよ「還暦」。最近になり、シオンキャンパスでのいろいろな思い出を夢に見ることが多くなった。マイライフのスタートはZION。常に活動の喜びを求め、チャレンジを忘れない。

銀行を定年退職後、原子力関連、建設会社と頭の活性化にも挑戦し、その傍ら趣味の歌も続けている。シャンソンから懐メロまでジャンルは問わない。CDも自費出版し、銀行OB会、老人ホームなどで月1、2度ボランティアで歌っている。銀行員時代には、いわき市の「道の駅」のテーマソングを歌っていたこともあるという。

趣味も仕事も満喫中! どんなことに挑戦しても原点は“ZIONキャンパス”。明るく自由な発想で生きること。ユーモアを重視すること。これが全てのエネルギー源だ。「同窓生の皆さん、“ZIONキャンパス”に集まり、人生を大いに語り合しましょう!!」



須藤 利晴
(19回生)
那珂郡東海村松在住



川又 磐雄
(6回生)
柏市あかね町在住

農業に燃えている

定年退職した頃「はま農業」という農業支援団体に参加し、以来9年間活動を続けている。2年間の実習教育を受け、退職者や若い男女が参加しており団体約250名の中に交じって燃えている。都市近郊の農家も働き手が少なくなっているが、都市にとって大切な存在だ。

市からの依頼に応じて週3、4日ほど柏から横浜近郊まで出向き作業をしている。作業内容は2、3名で分担するナス・キュウリなどの野菜、梨・鉢物などの園芸農家の援農、集団する公園や花壇や里山の整備などがある。

日焼けした顔で氏は「収穫の楽しさは格別で、汗をかいた後仲間との団欒など現役時代とはまったく違った楽しみがある。直販の接客では生産者としての誇りを感じる」といい、「これから元気よく援農活動に関って行きたい」という。



明日に向けてフル充電!

■ブラスバンド部

高校ブラスバンド部が中学校ブラスバンド部と一緒に演奏活動を始めて4年がたつ。一貫教育を機にビッグバンドとして活動しているが、高校・中学其々の目標もある。

高校は12名の少数ということもあり、6月の地区音楽祭や学園祭を軸に夏は充電期間として来年にかける意気込み。

中学は夏の県吹奏楽コンクールに向けて19名が一丸となり猛練習中!!創部以来初の舞台となることもあって、新たな発見とその先を見据えた毎日を送っている。

また、年4回の中庭コンサートにむけて、中高共に切磋琢磨しお互いを磨きながら、音楽の持つ魅力を日々探求している。

文化部としては知名度に欠ける部分もあるが、音楽を通じて多くの人たちと心を通わせたい。部員たちはこの想いをしっかりと胸に抱いている。

「勇往邁進」空高く翔たけブラスバンド!

CAMPUS NOW



ファッションやグルメの流行を発信する東京・南青山に「AKIデンタルクリニック」を開業し、今年で六年目を迎えた。

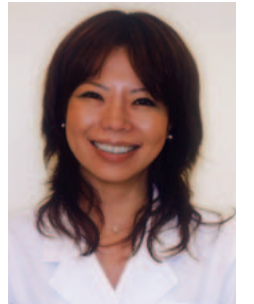
診断のメーンは、歯の形や色を整える「審美歯科」。患者とのコミュニケーションが大切と考える亜紀子さんは、治療をするにあたり不可欠な作業であるカウンセリングで、患者の要望や治療工程、費用などを十分に話し合い納得した上で、丁寧に時間をかけて治療する。患者層は、二十〜六十代、美意識の高い女性が圧倒的に多い。場所柄、タレントやアスリートも来院するのが日課である。

自身も来院する評判のクリニックである。高校時代は部活なしの帰宅部。他校生とロックコンサートやイベントを企画してエンジョイした。鶴見大歯学部卒業後、都内の審美歯科に勤務。独身女性の強気で、銀行から融資を受け開業した。

趣味は、始めて七〜八年になるフラメンコ。あまり時間が取れないため、目下のところは小休止。発表会毎に揃えた衣装が順番を待っている。楽しみは、二歳のベキニーズ犬「テル」との近所ウォーキング。クリニックからそう遠くない自宅マンション付近を朝夕散歩するのが日課である。

自分のペースを維持しつつ、仕事やプライベートを充実させ、将来は大病院で、インプラントの技術や全身管理の勉強がしたい。また、若い人材の育成も手掛けてみたい、と意欲的である。自他共に認める行動派亜紀子さんなら、さっと実現させるに違いない。

●いま輝いています●



健康な歯は命です
AKIデンタルクリニック
吉久保 亜紀子 (39回生)

ずうーっと合唱を続けていきたい

お母さん（鈴木文子さん：31回生・コーラス部）の影響もあり、小学校の頃からコーラスを続けてきた。

日立市大久保中学校時代はブラスバンド部で木管楽器を担当し、高校ではもちろんコーラス部、大学でも聖歌隊に参加して活躍している。

「大学では生活科学部に在籍し、福祉の勉強をしています。高校からの友達が沢山いるせいか、まだまだ高校生気分が抜けきれずに生活しています」と、はにかむ。

心理学の分野にも興味があるので、将来はその方向に進みたいという。

「出来れば合唱をずうーっと続けていきたいと思っています」



鈴木みどり
(59回生)
茨城キリスト教大学
生活科学部在学中



杉伶
(49回生)
ひたちなか市在住

バレエクラスを開講します！

健康のためにお母様から勧められ、3歳で入門したバレエ。今では彼女に欠かせないものとなった。小川亜矢子先生（ロンドンロイヤルバレエスクール卒業、紫綬褒章受賞）主宰の青山ダンシングスクエアへ在籍し、ダンス界を担う諸先生方の公演や雑誌、レッスンビデオなど様々な場所で活躍している。'02年度文化庁国内芸術インターンシップを授与された後の、アメリカ、ルーマニアでの研修は、視野を広げることができた。

現在は、在籍スタジオや日本水泳連盟シンクロオリンピック競技者への指導経験を生かし、この春、地元でバレエクラスを開講するという。

■レイバレエクラス 4月開講
ひたちなか市文化会館リハーサル室
<問い合わせ・申し込み>TEL 080-4360-2818
E-Mail rei-sugi@xep.jp
H.P http://www.rei-sugi.com/

毎日、安全登校のお手伝い

2つ違いの姉、4つ下の弟、3人とも高校出身です（父上は井坂光宏元校長、現在はスクールカウンセラーとして週3回程度勤務）。高校時代、やはり父のことが気になりました。なるべく学校では顔を合わせないようにしました。部活は1年間だけテニスをしました。

大学はそのまま茨城キリスト教大学に進みました。20歳の時洗礼を受けキリスト教になりました。卒業後、常陽銀行に就職、15年ほどで退職しました。

10年前に結婚、小学1年と今度幼稚園に入る2人の娘に恵まれました。夫は外資系の保険会社勤務です。毎日小学校のスクールボランティアをして安全登校のお手伝いをしています。

そういえば、私が高校に入る前ローガン・フォックス先生のお兄さんのハリー・フォックスさんが自宅に泊まりにきていました。



遊佐恵
(旧姓井坂/39回生)
水戸市石川在住

開催しました！！



■25回生「3-3井坂組」・教室で同窓会

平成21年6月27日（土）、高3当時の教室で、担任の井坂先生を招き、学生服姿の司会でHRと英語授業を再現した。参加者は実年齢を忘れ、高校生そのものになりました。

開催しま～す！！



■いわき支部総会のお知らせ

2月27日（土）、いわき支部総会の準備会が、すし店「初美」に有志15名が集まって開かれ、総会の期日と内容が決まった。暫定支部長は同窓会副会長の菅原紀子が総会まで引き受け準備にあたる。総会は下記の通り。

- 日時=5月29日（土）午後2:00
 - 場所=「やまたまや」（JR植田駅前）
植田町八幡台6 TEL0246-63-1288
 - 「青木FUKI」ティータイムコンサート
 - 会費=4,000円
 - 問合せ=菅原紀子 TEL0296-63-1261
- *他支部からの参加、大歓迎。ご協力下さい。

ありがとうございます！
3名の先生方が勇退されました。

小林茂樹先生（英語）三十九年間
谷口東子先生（理科）十九年間
堀美智子先生（国語）十三年間



校長・小澤則男先生（左）と同窓会長・鈴木誉志男
（高校応接室）

小澤則男校長に鈴木同窓会会長が聞く

鈴木 今日高校の自慢話と三〇号を迎えた「ZION」について校長の感想をお伺いに来ました。先ずは自慢話からお聞きしましょう。

小澤 中高一貫教育で初めての卒業生が大学受験をしました。先ず結果ですが、四月二日現在で国立大学七十二名が合格、京都大学二名、東北大学二名、大阪大学二名、秋田大学医学部二名など難関を突破してくれました。また私立大学では早稲田大学七名、慶應義塾大学二名などと

五九四名が合格を果たしました。詳しくは別紙の大学入試合格状況をご覧ください。

鈴木 先生方のご苦労も大変でしたでしょうか。

小澤 学習室で個別教育、遅くまで指導されていました。生徒たちも良く頑張りました。学習室が一杯になると、廊下に机を移動したり工夫してやりました。

鈴木 同窓会としても会員諸氏に働きかけ、子息や孫をこの中学、高校に入れるよう働きかけたいと思います。これだけの実績と成果は十分に評価の対象になります。さて同窓会広報誌「ZION」の三〇号を今回発行します。全国的にも他には無い内容ですし、全て編集委員が取材し書いたものです。

小澤 毎回の発行を楽しみにしております。あのやんちゃな子供たちの第1線で活躍する姿を知って嬉しくなります。「ZION」から古い学園を知ることが出来るのも楽しみです。また同窓生が愛校心を持っているのも伝わってきます。これからも期待しております。

鈴木 有難うございました。愉しく・面白く・内容のある記事を載せていきます。
(記事・写真・酒井)

参加者募集中!

■水戸支部より「日帰りバスツアー」のお知らせ

- 日時=平成22年7月中旬の吉日
 - 行先=横浜周遊(中華街、山下公園、元町、ナイトクルーズ、他、盛沢山)
 - 会費=10,000円(同窓会より補助有り)
- *日程が決まり次第ご案内致します。老若男女ふるって参加下さい。他支部の方も大歓迎!

■ゴルフコンペのお知らせ

- 昨年10月に短大ゴルフコンペがあり、高校同窓会の浦井泉君(23回生)が優勝しました。今回は優勝者が幹事となるルールなので、高校同窓会からも多数参加したいと思います。
- 期日=平成22年9月下旬
 - 場所=笠間ゴルフクラブ
 - 競技方法=新ペリア方式
 - 料金=プレー費・約10,000円
 - 会費=3,000円(パーティ、賞品代含む)

編・集・雑・感

創刊号から30年目を迎えた。特集号としてA4版、カラーとしてみた。また、「ぶらり訪問」の欄を、この高校卒業で尚且つ教職を執る先生と事務職員の対談を特集した。同窓生の内輪話で、物足りなさはあった。教育指導の核心を避けたからでもある。他意はない。

表紙に「ZION」30枚の表紙を載せた。どれも思い出の作品である。30代後半、エネルギーに溢れ、面白く記事を書き、愉しく会話も弾んだ。間もなく70代、心の弾みが薄くなり、ポケも加わり、馴れ合い記事が多くなり、引退時期の到来を知る。そう言えば編集者の多くも同じ状況下にある。多分本人たちは否定するだろうが。

年4回の編集会議は鈴木会長の会社、「サザ」応接室を20年借用し、昼食と美味しいコーヒーをご馳走になった。だから続いた。デザイナーの松本安良氏にもご協力いただいた。長い間お世話に成り有難うございました。「ZION」31号を楽しみに待ちたいです。

(酒井・記)

**ZION
ホームページ
アクセスの方法**



"yahoo"などの検索ソフトから「ZION同窓会」と入力して検索し、これをクリックするとアクセスできます。

お 待 ち し て ま ~ す !

平成22年度

ホームカミング・デイ

■日時:6月6日(日) AM11:00~PM2:00

■会場:キアラ館=総会、ゴスペルライブ
学生会館=楽しい集い

- ★今回は、4,14,24,34,44,54回生がヒーロー、ヒロインです!! いいことあります。こそって出席ください~!!
- ★差し入れ大歓迎!

●第1部:平成22年度同窓会総会

●第2部:「ゴスペルライブ」と「楽しい集い」



Hope of Peace Gospel Choir

楽しく歌うことをモットーに2009年5月に結成。日立市を中心に、自主ライブ、各種イベントで活動中。メンバーは本高校、大学出身者、本学園職員を含め40名ほど。

*メンバー募集中! =年齢、性別、性格(?)は問いません。楽譜が読めなくても大丈夫!一緒に楽しく歌いませんか?
[HP] <http://hopeofpeace.web.fc2.com/>

★先生方も出席されます。お楽しみに~!

■同窓会事務局:0294-52-3215

Leblanc
ルブラン

TEL 029-241-1991

シュークリーム・和洋菓子
TAKARABUNE

タカラブネ

MEGAドン・キホーテ上水戸店
029-255-0156
金澤孝憲(18回卒)

第42回 賞品抽選

SAKURASAKU
LIFE

<http://www.sakurasaku.tv>

JOJO

カバンの修理も
随時受付中!
見積無料!

BANBI
かばん
バンビ鞆工房

■水戸店/水戸市笠原町600-25 TEL.029-241-8111
■つくば店/土浦市卸町2丁目5番17号 TEL.029-841-8800
営業時間/10:00~18:00 定休日/水曜日

建築・土木・住宅・リフォーム

井上工務店

茨城県ひたちなか市和田町1-10-13
Tel:029-263-0211 Fax:263-0215
<http://www.inoue-koumuten.jp>

富士企業(株)

310-0913 水戸市見川町2410
TEL 029-243-1777
FAX 029-243-1793

株式会社 水戸グリーンサービス

〒310-0903 水戸市堀町959番地
TEL 029(225)2754 FAX029(227)2783
E-Mail info@greenservice.jp
URL <http://www.greenservice.jp>

●クリーニングサービス
●造園・植栽管理 ●害虫駆除
●給排水洗浄
【臭い・汚れ・詰り(キッチン・洗面・トイレ等)】
●貯水槽清掃 ●室内環境測定
●一般・産業廃棄物

クリーンらいふ

株式会社
茨城県日立市若葉町1丁目2番3号
TEL. 0294-26-0881
FAX. 0294-26-0883

かしこく生きるくらしのポータルサイト

ゆたりに

www.yutari.jp

有限会社 時の広告社
水戸市見川5丁目302-1 TEL.029-241-9216
取締役 小松和広(第45回生)

カクテルと食彩の店 **とらんたん**

日立市幸町1-12-4 pmビル5階
Tel. 0294-22-1030

Nova 日立駅前校

日立市幸町1-12-4 pmビル1階
Tel. 0294-32-5059

ITTO 個別指導学院 日立大みか校

日立市水木町2-43-7 Tel. 0294-85-6011

株式会社 **ひたちピーエム商事**
常務取締役 松山圭吾(32回生)

PAPER...

偉大な素材

紙の未来を創造する
小林紙商事株式会社
〒310-0845 水戸市吉沢町333番地の2
TEL(029)247-3131(代) FAX(029)248-2302

**HOME ROASTED
SAZA COFFEE**
SINCE 1969

鈴木誉志男(10回卒)
本社:ひたちなか市共栄町8-18
TEL 029-274-1151
www.saza.co.jp

★広告掲載(有料)希望される方ご一報ください

茨城キリスト教学園高等学校同窓会報

ZION No. 30

- 発行日/平成22年5月1日
- 編集/酒井博起 佐藤寿子 手塚正子 荒川真理子 中村潤治 小野瀬雅之 来栖肇 ●デザイン/M-at
- 発行人/鈴木誉志男
- 発行所/〒319-1295茨城県日立市大みか町6-11-1 TEL.0294-52-3215 FAX.0294-53-9271 茨城キリスト教学園高等学校同窓会
- <http://zion.cool.ne.jp> E-mail: ih-dousou@icc.ac.jp